

# 平成22年 ホッケ計量魚群探知機調査報告

(独) 北海道立総合研究機構 稚内水産試験場調査研究部 電話：0162-32-7166

・5月24～28日に仙法志堆海域（折込根・利尻根周辺）において、試験調査船北洋丸により水温観測、計量魚群探知機調査および釣獲試験を行いました。

【水温】水温は、折込根では6.3～9.6℃(50m～表面まで)、利尻根では6.6～9.7℃でした（50m～表面まで）（図1）。過去5カ年の平均値と比べると、利尻根および折込根ともに表層から10m以浅では1.1～1.5℃高い値を示しましたが、25m以深では平均値よりやや低い値でした。

【計量魚探調査】計量魚群探知機によって推定されたホッケ以外の魚を含めた魚群量指数\*は、折込根では昨年の1.3倍と高い値でしたが、利尻根は昨年の0.8倍とやや低い値でした（図2）。

【釣獲試験】釣獲試験は4人で約1時間半、折込根・利尻根で行いました（表1）。1時間当たり1人当たり釣れたホッケは、折込根で19.7個体(体長220～330mm)、利尻根で5.0個体(体長237～306mm)とそれぞれ昨年の6.0倍、3.3倍となりました。しかし釣れたホッケは大型主体で、この時期に当海域に来遊してくる通称「ハルボッケ」ではありませんでした。ホッケ以外で、最も多く釣れたのはソイ・メバル類（エゾメバル、ヤナギノマイ）でした。

【まとめ】魚探調査から推定された魚群量は折込根で高め、利尻根でやや低めの値でしたが、釣獲調査では両根とも比較的高い値を示しており、昨年、一昨年と比べると仙法志堆における分布量はやや多いと思われます。しかし魚群は大型魚主体で、春漁に影響する「ハルボッケ」の来遊がまだ見られていないことから、水産試験場では今後漁獲物調査を行い、各漁場におけるホッケ漁の状況を注視していきたいと思えます。

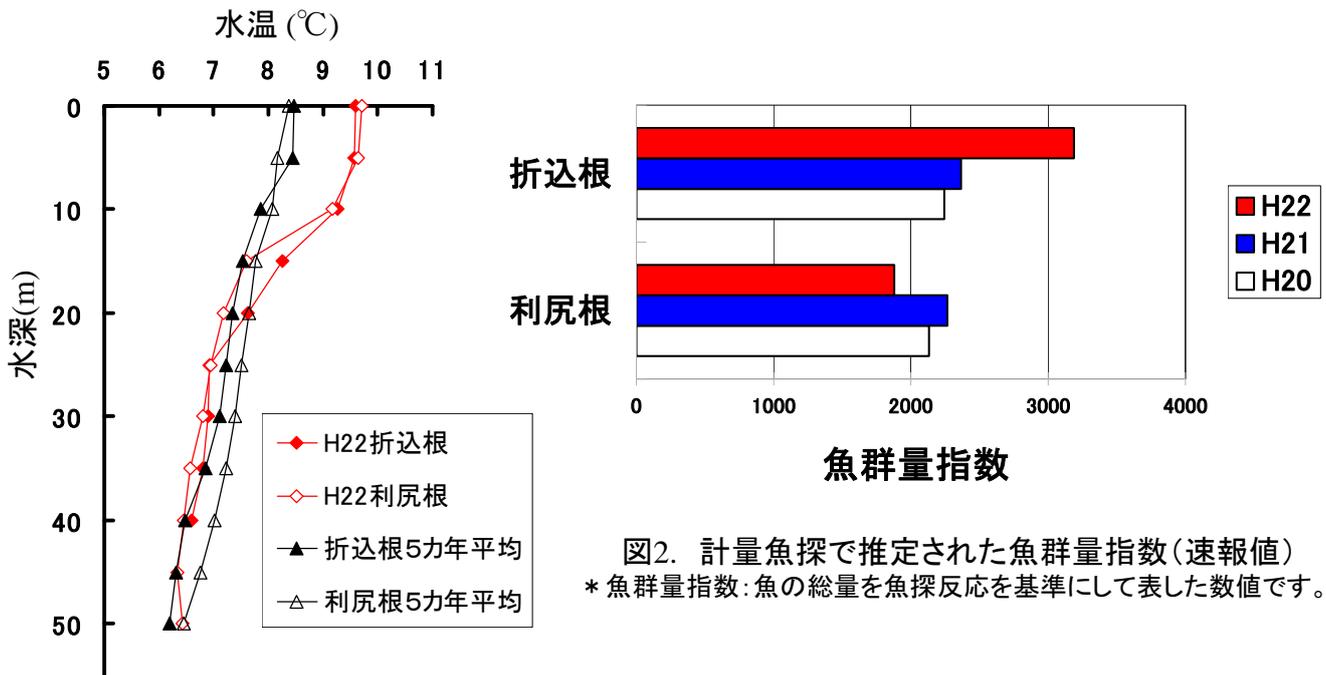


図1. 調査海域における水温

表1. 仙法志堆の釣獲個体数(1時間当たり1人当たり)

魚種	平成20年		平成21年		平成22年	
	折込根	利尻根	折込根	利尻根	折込根	利尻根
ホッケ	0.7	0.6	3.3	1.5	19.7	5.0
ハツメ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アカガヤ	3.1	3.6	0.5	1.7	0.3	0.3
その他のメバル類	1.4	0.0	3.4	1.9	2.0	1.7
カジカ類	0.7	0.8	0.2	0.4	0.7	0.2